

平成30年度第1回印西市総合計画審議会会議 会議録

- 1 開催日時 平成30年8月10日（金）午前10時～正午
- 2 開催場所 文化ホール 2階 大会議室
- 3 出席者 吉村彰 会長、篠田道雄 委員、川村一幸 委員、海老原宏 委員、
吉野康夫 委員、海老原稔 委員、青柳和江 委員、菊地謙治 委員、
青木和浩 委員、熊谷公 委員、山口茂 委員、高橋定一 委員、
井上洋一 委員、小林正勝 委員、福場正弘 委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 企画政策課：小林課長、齊藤課長補佐、富澤係長、海老原係長、
金子主査、中島主査
- 6 傍聴者 2名
- 7 議 事 (1) 平成29年度分行政評価結果について
(2) 印西市総合計画の進行管理に関する答申について
- 8 会議録 要点筆記（議事について要点を筆記しています。）

吉村会長： 議事（1）平成29年度分行政評価結果について、事務局より説明願います。

事務局： 資料に基づき説明

吉村会長： 事務局の説明が終わりました。議事（1）平成29年度分行政評価結果についてご意見ご質問を伺います。

井上委員： 7ごみの減量化・再資源化の推進事業の総合評価はCとなっておりますが、この理由は目標が高いから又は排出量が多いからどちらですか。
資料1-1にそのコメントが必要ではないでしょうか。

事務局： 印西市のゴミの排出量は全国又は県内と比較すると少ない状況です。総合評価がCとなる主な理由は、目標値が高いためと考えられます。

吉村会長： 資料1-1のコメントは、代表的な事項を簡略化して記載していると思い

ます。

吉野委員： 89 鳥獣被害対策事業について、評価はAとなっていますが、イノシシは減っていません。もっと住民に効果が見える対策が必要ではないでしょうか。
また、イノシシの巣を潰す対策をお願いしたいです。

事務局： 今後の方向性は拡大としていまして、平成30年度は捕獲した際に連絡が来るようなシステムとしてICTの導入を検討しています。また、箱わな、囲いわなを設置するとともにイノシシの巣の撲滅対策を実施する予定です。

海老原稔委員：施策名「高齢者の生きがいくくりと社会参加の促進」の総合評価はCですが、実施計画の52、53、54の評価は全てBです。また、施策名「地域ぐるみで高齢者を支える見守り・予防・介護の仕組みづくり」の総合評価はAですが、実施計画の55、56、57、58の評価はAが1つで残りは全てBです。
総合評価結果に疑問があります。

事務局： 施策の評価は、第2次基本計画で定めている目標についての達成度としています。そのため、施策の取り組みとしての実施計画事業はBであっても、成果を施策の目標と比較して達成していない場合又は達成している場合の評価はCやAとなります。

吉野委員： 20 防災体制の強化事業について、町内会や自治会等で自主防災組織を結成してるが任務を理解していない場合があると思います。また、22 防火水槽整備事業について、貯水池として使用しているものがありますが、屋根が老朽化していて大変危険な状況になっています。早急に対応していただきたい。

事務局： 防災課にお伝えいたします。

熊谷委員： 65（仮称）障がい者就労サポートセンター整備事業について、障がい者就労サポートセンターの完成は7月となっていますが、完成したのですか。
38 放課後児童健全育成事業、39 学童クラブ施設整備事業について、現在保育園の待機児童が多くいる状況であるため、今後は学童クラブの需要がさら

に高まると思います。学童クラブ整備の今後の方向性を確認させてください。

事務局： 障がい者就労サポートセンターの整備は若干遅れていまして完成しておりませんが、開所は予定通り12月となります。

学童クラブについては、市の整備には限界がありますので、市が民間による設置を支援していくことになると考えています。

吉村会長： 他にありませんか。無いようでしたら、議事（1）はこれで終了とさせていただきます。

吉村会長： 議事（2）印西市総合計画の進行管理に関する答申について、事務局より説明願います。

事務局： 資料に基づき説明

吉村会長： 事務局の説明が終わりました。議事（2）印西市総合計画の進行管理に関する答申の審議の進め方は、配付させていただいた答申（案）の基本目標ごとに決定していきたいと思います。

福場委員： 答申の素案について事前に意見等を求められましたが、何件の意見がありましたか。

私は意見を提出していますが、配付された答申（案）には反映されていません。私の意見は無視されたのですか。

吉村会長： 答申の素案については、2名の委員からご意見をいただいています。そのご意見を配付させていただいてよろしいでしょうか。

事務局： 追加資料として提出された意見を配付

吉村会長： 答申（案）は基本目標ごとに決定していきますが、2名の委員から全体についてご意見がありますので、そのご意見についてご説明をお願いします。

井上委員： 目標に対して達成度を定量表現した方が危機感が伝わると思います。また、目標と実績との差異が大きいものは、こんなことが問題となっているというコメントを入れた方が良いと思います。

福場委員： 全体として物足りないので、私は配布した意見のとおり考えました。

吉村会長： では、基本目標の項目について進めます。
基本目標1についてご意見ご質問を伺います。
また、数字目標となるとどのようなものがあるのか併せて伺います。

海老原稔委員：「適切に推進してください。」と「積極的に推進してください。」という文がありますが、「適切」と「積極的」の語句の使い分けと含まれる意味は何ですか。

事務局： 今回の答申は、市長から平成28年11月に「印西市総合計画の進行管理について」を諮問されたことに対して行うものです。進行管理ですので、総合計画に基づいた事業等の進捗をチェックすることが求められていると思います。そのことから、実施内容や時間的なスピードが総合計画と合っているかについて適切かどうかを判断する必要があると考えられますので、その適切という語句を用いています。積極的にという語句は、より強調する場合に用いています。

井上委員： 答申の受け手によりわかりやすい表現として、事業との推進責任者等の明確化などを入れてはどうですか。答申の受け手は、市長ですけど実施している各部署に伝わる表現はできないのでしょうか。

川村委員： 進行管理の答申としては、個別具体的な意見を入れるかどうかは微妙です。

福場委員： 基本目標3は農業だけで商工業が含まれていません。旧市街地ではシャッター商店街が多くなっていますので、商工業の活性化を入れてはどうですか。

川村委員： この審議会で答申の細部まで全て決定するのは難しいと考えますが、事務

局どう考えていますか。

事務局： 2名の委員から意見がございましたが、現時点では審議会の総意ではありませんので、審議会としてまとめていただき、字句等の整理は会長と事務局に一任していただきまとめていきたいと考えています。

川村委員： 委員からの意見は答申に反映したいが、いかがでしょうか。

吉野委員： 私はこの答申（案）で良いと思います。

川村委員： このような意見があったということを記録等に残していただき、今後の計画に反映してもらいたい。

審議会としては、答申はこのままで良いのでは。

高橋委員： 平成28年11月8日の印西企第360号で諮問されているのは、「印西市総合計画の進行管理について」ですので、今回の答申はこの答申（案）で良いと思います。2名の委員会からの意見は各担当部署で共有することで良いと思います。

吉村会長： 今回の答申は進行管理評価についてです。個別具体的な指摘事項すべてを記述しなくてもよいと思いますが。

川村委員： 市長へ答申する際に、このような意見があったということを伝えていただきたい。

福場委員： 基本目標3は農業だけになっている。商店街の活性化を入れたほうが良いと思う。

基本目標4には「国際化」を入れた方が良いと思います。

川村委員： 答申（案）は、主な事項を記載していると思います。商店街の活性化等の産業振興の個別具体的な事項を入れるのであれば、実施計画事業約200事業全て入れるようになってしまいます。

吉村会長： 特に無いのであれば、答申の語句等は私と事務局で整理するということがよろしいでしょうか。また、2名の委員からの意見は会議録等に残すとともに市長へ答申する際に私から伝えます。

全 委 員： 異議なし

吉村会長： 答申は、後日各委員に郵送させていただきます。

吉村会長： 本日の議事はこれで終了とさせていただきます。事務局に進行をお返しいたします。

事 務 局： それでは以上をもちまして、平成30年度第1回印西市総合計画審議会を終了いたします。

長時間にわたりありがとうございました。

※審議議題ではないが、小林委員より平成29年度第2回印西市総合計画審議会と平成30年度第1回印西市総合計画審議会において「月刊千葉ニュータウン 第202号 2018.2.10発行」の記事内容の一部に疑念があるとの発言がありました。

